

2008年度提出修士論文題目一覧

近松半二考 演劇としての成熟—明和期を中心に—	長岡 彩子
「ローラン・プティ振付作品《カルメン》研究」	本永 百合子
映画におけるパリの表象 —パリの中央市場を中心に—	江崎 有紀
『ミニシアターにおけるコンテンポラリー・ダンサー支援～セッションハウスを事例として～』	徳永 梓
鶴淵初蔵とその仕事	中川 望
エヴゲーニイ・バウエルのスタイルをめぐる考察 —現存する映画作品（1913年～1917年）を中心に—	小川 佐和子
《春の祭典》に見られる「供犠」の表象	北原 まり子
サミュエル・ベケットのラジオドラマ研究	久米 宗隆
「ジャン・ジロドゥ作『シャイヨの狂女』における《ひもたち mecs》の正体をめぐって」	田ノ口 誠悟
バレエにおける「キャラクター」に関する一研究	筒井 志歩
ミュージカル映画とラジオ —1927～1934年のアメリカにおける娯楽メディアの交流	仁井田 千絵
劇作家Sarah Kaneのドラマツルギーをめぐる考察—“Phaedra's Love”を中心に—	三輪 冬子